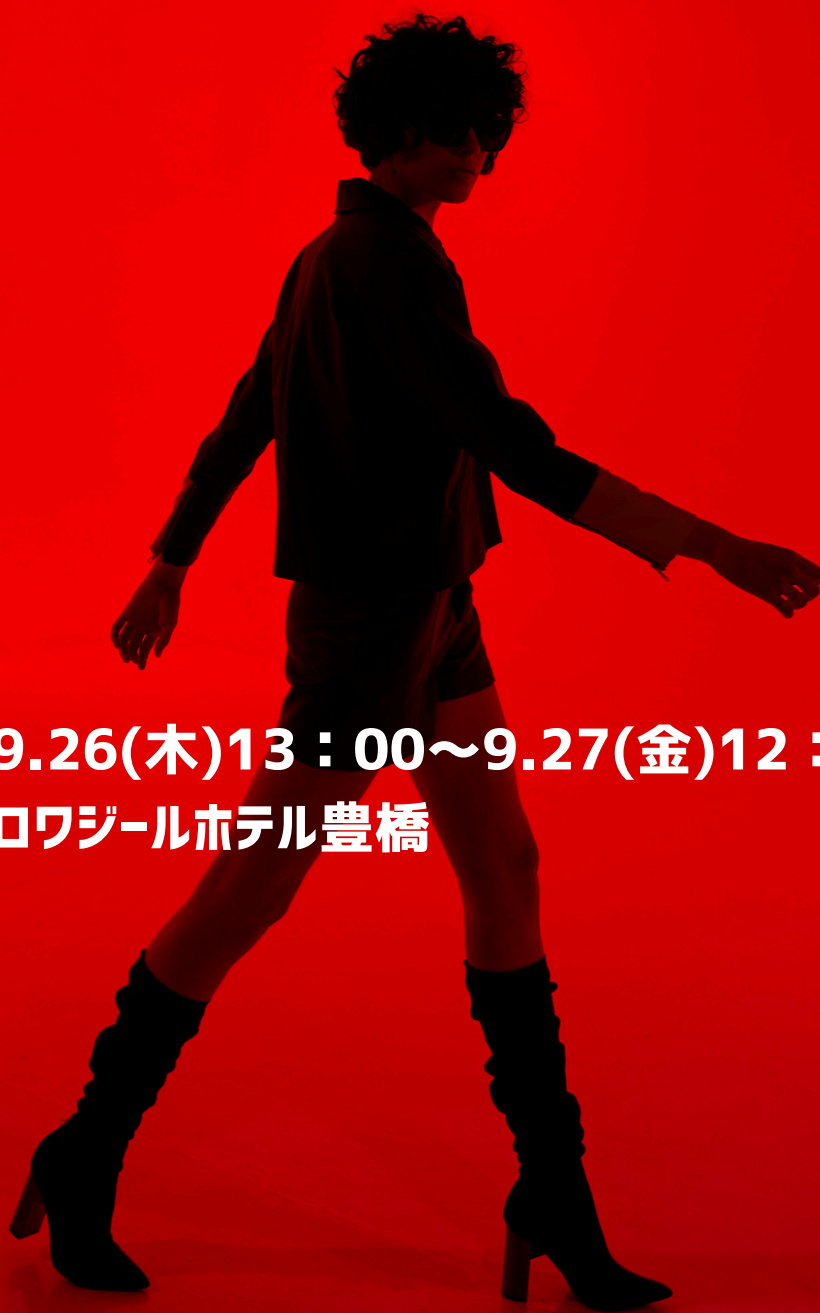


令和6年度  
第62回 東海地区知的障害関係施設長等研究協議会

# 『未来につなげる持続可能な 障害福祉サービスを考える』



日時：9.26(木)13：00～9.27(金)12：00

場所：ロワジールホテル豊橋

主催 公益財団法人日本知的障害者福祉協会 東海地区会  
主幹 一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会  
後援 愛知県、豊橋市、愛知県社会福祉協議会、愛知県知的障害者育成会、愛知県セルフセンター、  
(予定) 愛知県自閉症協会、愛知県知的障害児者生活サポート協会、名古屋手をつなぐ育成会、  
名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会、豊橋観光コンベンション協会

問い合わせ先：一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会 事務局 TEL 0532-87-4333 Mail [jimu@aichi-fk.jp](mailto:jimu@aichi-fk.jp)

## 大会テーマ

# 『未来につなげる持続可能な障害福祉サービスを考える』

障害福祉の未来とは何か？答えは、「障害のある無しに拘わらず社会の中で普通に暮らせること」というインテグレーションの理念の中にヒントがあるかもしれない。障害者が地域社会で生活するには困難さが伴う。インフラから言語やサービス、マスコミ、AIなど全てが健常者の使用を前提に作られてきた。また多くの人々が障害者と過ごした経験が無く、理解したくてもできなかった。障害者の側も、健常者の陰で、健常者優先で暮らすのが当たり前になった。「障害があるから仕方ない、障害があるから出来ない」で済ませてきた。共生への見えない壁。

そして、忘れてはならない大切な問題が「災害対策」。なかでも大規模災害時の障害者支援と事業所の在り方だ。「ヒト、モノ、カネ」の全てが無い中での。

年初に発生した能登半島地震は、様々な教訓を生んだ。避難所問題、放置された倒壊家屋や寸断されたままの道路、そして行き場のない被災者、支援者のいなくなった入所施設の利用者等々。災害に一般市民も障害者も関係ない。最大の教訓は、自力での復興は難しいという点、つまり支援の手の重要性だ。事業所はそれぞれのBCPだけでは立ち行かなかった。

継続するためには助けと連携が必要だ。連携していくことで新しい未来が拓けてくる。助け合うだけでなく、皆の知恵と力が新たな事業や取組みに繋がっていく筈だ。それは災害前の状態に戻すのではなく、災害をベースにさらに強く、そして進化した姿に変わっていくことに違いない。

改めて、障害福祉の未来を考える。

## 1日目(9月26日)

12:00-13:00 受付

13:00-13:20 開会式

13:20-14:20 **行政説明**

「報酬改定に伴う知的・発達障害者支援施策の現状と課題」(仮題)  
西尾 大輔 氏 (厚生労働省 障害福祉課 発達障害対策専門官)

14:20-14:40 休憩

15:40-16:10 **基調講演**

「障害福祉の未来と展望」(仮題)  
菊池 馨実 氏  
(早稲田大学法学学術院 法学部 教授)

16:10-16:20 休憩

16:20-17:00 **鼎談「社会保障の観点で見る障害福祉の在り方」**(仮題)

パネリスト 菊池 馨実 氏

江崎 太郎 氏(NPO法人YNF代表)

ホスト 松下 直弘 (愛知県知的障害者福祉協会 副会長)

18:00~20:00 情報交換会



2日目(9月27日)

【第1分科会】大規模災害時の障害者支援～福祉は障害のある人を支え続けられるか～

9:00-10:00 講演

「大規模災害時の福祉サービス～能登半島地震の現場より～」  
畝 和弘 氏 (石川県：社会福祉法人弘和会 理事長)



10:00-12:00 トークセッション (うち15分休憩)

「被災地の今とこれから～それでも暮らしは続いている～」

登壇者 畝 和弘 氏

田中 穂積 氏 (愛知県：中京テレビ報道局 報道記者)

江崎 太郎 氏 (NPO法人YNF代表)

聞き手

田中 雅樹 (愛知県知的障害者福祉協会 防災委員長)

【第2分科会】いつでも自分らしく生きる～障害者の人権と豊かなライフヒストリー～

9:00-10:00 講演

「利用者の意思決定に応える支援とは」(仮題)

手嶋 雅史 氏 (椋山女学園大学 人間関係学部 教授)



10:00-10:15 休憩

10:15-12:00 トークセッション

「当たり前の権利行使のために必要なこと」

コーディネーター 手嶋 雅史 氏

登壇者 【静岡県】三室 龍一 氏 (社会福祉法人福浜会 あにまあと 管理者)

【岐阜県】調整中

【三重県】調整中

【愛知県】浅野 慎吾 氏 (社会福祉法人養楽福祉会 第二養和荘 荘長)

【第3分科会】障害福祉の未来像を探る～事業(法人)の持続性と役割～

9:00-10:00 講演「これからの障害福祉に求められるもの」(仮題)

小澤 温 氏

(筑波大学 大学院 教授)



10:00-10:15 休憩

10:15-12:00 トークセッション

「新たな障害福祉の形」(仮題)

登壇者 小澤 温 氏

馬場 篤子 氏 (福岡県：社会福祉法人 拓く 理事長)

千葉 晃嗣 氏 (愛知県：社会福祉法人輪音 理事長)

コーディネーター

阪田 征彦 (愛知県知的障害者福祉協会 会長)

## 参加申込

参加希望の方は、下記URLもしくはQRコードからお申込み下さい。

<https://www.mwt-mice.com/events/tokai-fk2024>

尚、申し込みの締め切りは9月10日(火)までといたします。

### 【問い合わせ先】

名鉄観光サービス(株)  
豊橋支店

〒440-0888

豊橋市駅前大通り2丁目29番地  
北星ビル内

担当：今泉

電話番号：0532-54-8241

F A X：0532-55-8602

## 参加費

〔会 員〕 12,000円

〔非会員〕 14,000円

### 今大会の資料は電子データでの配信となります

資料データは事前に電子データで送りますので、各自でタブレットやPCに保存するか、資料を印刷して当日お持ちください。

情報交換会(夕食込) 10,000円

## 資料代

1冊 1,500円

### 製本資料が必要な方へ

製本資料をご希望の方向けに受注生産をします。

事前にお申込みがない場合は当日のご用意がありませんので、必ず参加費と併せてご注文ください。

## 参加証

参加者には9月中旬頃に名鉄観光サービス(株)より参加券を送付いたします。大会期間中、名札としてもご使用いただきますので必ずご持参ください。

## 交通

※JR豊橋駅より、ホテルシャトルバスは大会両日増発運行されます。

1日目 豊橋駅西口発：10：35、11：15、11：30、12：10、12：30

## 交通のご案内

ACCESS

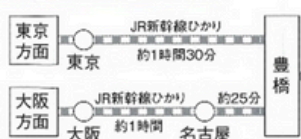
※JR豊橋駅より、ホテルシャトルバスは大会両日増発運行されます。

### ●お車でお越しの場合

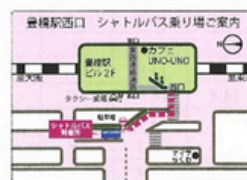


東名高速道路豊川ICより約40分  
無料駐車場をご用意しております。  
(大型バス専用駐車場有)  
ホテル駐車場だけでなく、  
隣接のホリデイ・スクエア駐車場も  
無料でご利用いただけます。

### ●電車でお越しの場合



- 東京から JR新幹線で約1時間30分
- 大阪から JR新幹線で約1時間20分
- 名古屋から JR新幹線で約25分
- セントレアから 名鉄で約1時間30分
- 豊橋駅西口より シャトルバスで約10分



【ホテル送迎バス5台完備】  
JR豊橋駅からの団体送迎、近隣施設へのお客送迎として団体チャーター利用も対応いたします。

シャトルバス時刻表は、  
下記HPにてご確認ください。

<https://loisir-toyohashi.com>



一般社団法人愛知県知的障害者福祉協会 担当：田中、川上  
〒440-0837 豊橋市三ノ輪町字本興寺41番地1 第一丸中ビル2階  
TEL：0532-87-4333 FAX：0532-87-4334 E-mail：jimu@aichi-fk.jp